

# 日本医療福祉生活協同組合連合会

## 東日本大震災支援ニュース No.44

(2011年4月20日 18時現在)

### 医療福祉生協連からのお知らせ

4月18日～19日

3県5市町に訪問し皆様から寄せられた義援金のうち  
総額5,500万円を贈りました

義援金をお贈りした自治体と義援金額

岩手県	10,000,000円
宮城県	10,000,000円
福島県	10,000,000円
宮城県松島町	5,000,000円
宮城県柴田町	5,000,000円
福島県福島市	5,000,000円
福島県いわき市	5,000,000円
福島県郡山市	5,000,000円



▲宮城県の担当者と懇談する高橋会長、  
青井専務（松島医療生協）、  
梅津専務（みやぎ県南医療生協）



▲岩手県の担当者に目録を手渡す高橋会長、  
佐藤専務（盛岡医療生協）

# 被災地の医療福祉生協の状況

## ○松島医療生協



毎朝、組合員宅と周辺の家々の地図で確認して訪問活動を行っています（写真）。

通所リハビリ利用者さんの第一声は「今日はお風呂大丈夫なの?」。通所リハビリでの入浴がとても喜ばれています。

（4月19日付、ニュースNo.18より）

## ○みやぎ県南医療生協



支援に入っている尼崎医療生協組合員活動部長からの報告。「1,000人や500人規模の避難所には支援物資はあるものの、行政が入っておらず、物資の仕分けができていません。被災者個々人のニーズと支援がマッチングしていない状況です。避難者は不満を口にすることなく我慢している感じです」

写真は「尼崎からの支援物資の靴を履いて『ぴったりだ』と喜ぶ被災者」。

（19日付救援ニュースNo.31より抜粋）

## ○福島中央市民医療生協

避難所にいる方々の入浴支援（入浴場所への送迎）、相馬市の避難所へ米、水、ツナ缶、味噌等の物資支援を行っています。

（4月19日付、避難所支援報告より）

## ○郡山医療生協

青少年自然の家が新たな避難所に。福島県から桑野協立病院に引き続いての医療支援要請がありました。

震災と原発事故の影響で、機能不全に陥っている病院があることを受け、県医師会、病院協会、看護協会など医療関係5団体が連名で「医療の確保に関する緊急要望書」を県知事宛に提出しました。

郡山市内の介護サービスは、ショートステイなどの申し込みが多いが、思うように利用できないとのこと。（対策本部ニュース19日付No.28 No.29より抜粋）

## 支援状況

### ○長野医療生協

本日より、看護師1名、検査技師1名、介護福祉士1名が松島海岸診療所の支援に出発しました。

### ○東信医療生協



4月12日、副理事長・専務理事・看護部長の3名が長野県栄村を訪問し、副村長に義援金20万円を贈りました（写真）。

副村長は「雪が多くまだ被害の全容が分からず、東日本大震災に目が向けられているが、栄村の被害も甚大で大変です」と語っていました。

（4月19日付、ニュースNo.4より）

### ○はるな生協

11日～15日まで看護師1名、事務2名が松島医療生協へ支援に入り、組合員・地域住民の訪問し、困りごと等をききました。

職員・組合員から100万円を超える義援金が寄せられています。

### ○川崎医療生協

4月11日から浜通り医療生協に入った第1次小名浜生協病院支援チーム（看護師2名）からの報告「療養病棟で支援しています。20人以上が経管栄養の患者さんで、介護度が高い患者さんが多いです」（19日付大震災対策ニュースNo.26より抜粋）

### ○医療生協かながわ

4月22日より、事務1名、病棟看護助手1名、介護福祉士1名を宮城県へ派遣します。320万円を超える義援金が寄せられています。（18日付ニュースより）

### ○神奈川北央医療生協

機関紙「北央医療」に義援金を呼び掛けと郵便振込用紙を同封したところ、171名の方から66万円を超える義援金が寄せられました。

支部・班を通じて寄せられた義援金、病院・診療所に寄せられた義援金を含め、170万円を超える義援金が集まっています。

（4月20日付、ニュースNo.2より）

### ○尼崎医療生協

みやぎ県南医療生協に支援入りしている第4次医療支援隊は、通常のデイサービス事業が終了した後、避難所から送迎をして入浴サービスを提供。

送られてきた支援物資を細かく分ける作業（男女別、大きさ別など）を行い、50～

60種類別に分類しました。また、避難所被災者のニーズをつかむために、みやぎ県南医療生協組織部の太田さんが調査用紙を作成し、避難所にて被災者に聞き取りをすすめています。

4月21日から7日間、看護師2名、事務1名、介護福祉士1名が宮城県塩釜市の災害拠点病院入り。（救援ニュースNo.31、No.32より抜粋）

## ○ろっこう医療生協



4月11日から現地入りしている組合員活動支援担当者が、福島県相馬市の旧・相馬市立女子高校の避難所に支援入り。避難所に水、インスタントラーメン、米、ストーブ、鍋などを搬入。

毎日、10時と3時に校内放送を利用して実施するラジオ体操でリーダーの一人として大活躍。（19日付東日本大震災・対策本部ニュース「心つないで」No.8より抜粋）

## ○姫路医療生協

第2次支援隊の看護師1名と介護福祉士1名は4月16日に姫路を出発し、翌17日宮城県塩釜市の災害拠点病院に到着。「避難所では高血圧や精神的ケアの必要な方が多い」との報告。（18日付支援ニュース7号より抜粋）

## ○鳥取医療生協

4月13日から宮城県塩釜市の災害拠点病院入りしていた心のケア支援担当の医師が無事、帰鳥。第8次医療支援チームの介護福祉士1名、理学療法士1名が20日、鳥取生協病院前を出発し宮城県へ。（18日付支援対策本部ニュースNo.47より抜粋）

## ○医療生協健文会

現在、医師4名、薬剤師1名、看護師1名、リハビリ職員1名が宮城県で医療支援を行っています。医師のうち2名はメンタルヘルス活動に従事しています。

義援金総額（4月19日現在）

**8470万3590円**（64生協、個人、事業者）

次号のニュースは4月25日を予定しています。  
臨時でお知らせする情報があれば随時お届けします。

担当：江本（at\_e@hew.coop）・丸山（kj\_m@hew.coop）